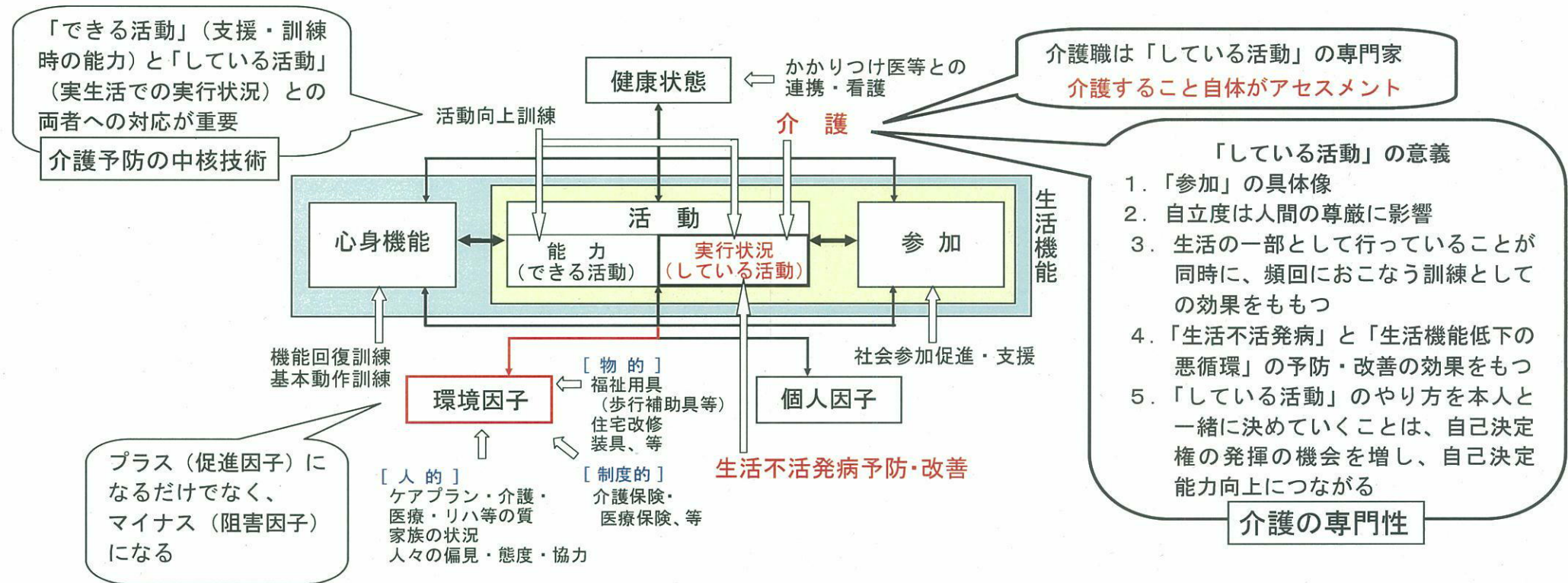


統合モデルに立った介護の位置づけ



○ 各種介護(保健)サービス・自助・共助は「環境因子」

- ・生活機能の3つのレベルのどこのどの項目に影響しているかをみる。効果判定も同様に
- ・その質を問われる(専門性でもある)
- ・他のより良いサービスはないか? 連携すべきものがないか、をみる

[例]: **バリアフリー**: 一人ひとりの一つひとつの活動毎でバリア(阻害因子)にもなり、バリアフリー(促進因子)にもなる(車いす使用者に適することだけがバリアフリーではない。やっと立って歩ける人にはマイナスになることが少なくない。)

○ 介護予防は機能障害中心ではなく、生活不活発病予防と活動向上訓練による生活機能向上!